

098 明治時代 第1次伊藤博文内閣



伊藤博文

1885.12 太政官制度を廃止して

内閣制度 発足

太政官制度では、太政大臣に三条実美、右大臣に岩倉具視がいて、ほかはみな横並びの参議で、参議たちの合議政治を理想としました。五箇条の御誓文で「万機公論に決スベシ」だったからです。だから西郷政權といっても西郷は形式上は参議の一人に過ぎず、大久保政權といっても大久保は内務卿を兼ねていましたがやはり参議の一人に過ぎませんでした。伊藤は、木戸・西郷・大久保・岩倉など肩書なしで政治ができるカリスマががこの世を去った後、強力な内閣総理大臣という役職で強いリーダーシップが必要だと考えました。

1887.12 警視總監 三島通庸 により

保安条例 公布

建白提出に集まってくるんじゃない！と、3年間皇居3里以内の東京に立ち入り禁止。伊藤首相は慎重だったが三島が押し切った。三島の保安条例対象者には福沢諭吉もいた。伊藤が反対して福沢諭吉は対象から外した。

五代将軍徳川綱吉「ひげはそるべき。ひげは礼儀正しくない。汚い」「夫を殺すな」「犬すら殺すな」「服忌令」→3つとも日本人の国民性となりました。

初代文部大臣 森有礼

1886.4 学校令 公布(諸学校令。ドイツ式)

- ・従来の教育令と違って、小学校令、中学校令、師範学校令、高等学校令と教育段階ごとの目的を明確に定めました。
- ・内閣が変わるたびに国家の基礎の教育がコロコロ変わっては困る→だから明治天皇の勅令方式にしました。
- ・学生服を制定(国に尽くすエリート使命感忘れるな)
- ・日本の教育に教練(今の体育)を導入(森は薩摩隼人です)
- ・学校行事に運動会を提案(外国に運動会はない)
- ・体罰禁止(江戸時代の武士に体罰はない。名誉>命だから)

初代外務大臣 井上馨

1886.5 条約改正会議開催

一括交渉 方式

焦りから極端な 欧化政策

→いわゆる 鹿鳴館外交

鹿鳴館とニコライ堂…コンドルの設計。「混んどう！」と 六名だけ ニコニコ堂

各級裁判所に 外国人判事 採用

→閣内からも批判出て外相辞任。

1886 国会開設の約束の年が近づき、

→民権運動ふたたび高揚

→ 大同団結運動

後藤象二郎、星亨(ほしとおる)らが呼びかけ板垣退助伯爵は育児等で忙しく不参加。「伯爵とか欲しくて戊辰戦争を戦ったのではない。四民平等のためだ」と2回拒否したのに3回目は天皇に失礼と言われ爵位をもらってしまったので(板垣は尊王思想)、民権家の自信喪失気味。

1886.10 ノルマントン号 事件

イギリス人船長がイギリス人を助けて日本人乗客は全員死亡した事件。日本の法律と裁判所で外国人を裁けないため、イギリス人領事が裁いて無罪となり、世論「これなら幕府のがまだましではないか！」

1887.10 三大事件建白運動 ノルマントン号事件がきっかけ

①条約改正 ②言論の自由 ③地租軽減

各自が建白書を書いて東京に提出しに集まろうと呼びかける運動。

初代内務大臣 山縣有朋

家柄だけ高い太政大臣の三条実美を首相にするわけにはいかなないと伊藤や山県は考え、井上馨「これからの首相は英文が読めない」と山県「それなら伊藤くんしか居ないではないか」と援護射撃して三条実美の首相就任を防ぎました。三条実美のために 内大臣 という実権の無い名誉職を新設しました。内大臣は内閣の一員ではない名誉職です。

1888.4 地方自治制度の整備

市制・町村制 の公布

府県制・郡制 の公布

日本で初めて市が作られました。市議会もできました。町・村は以前からありましたが、町村議会ができました。市長は選挙ではなく内務大臣の任命制でしたが、国会開設が近づいている中、いきなり国会議員になるのではなく、国民に議会政治の練習の場を設けました。

ドイツの学者 モッセ の助言

1888.6 枢密院 を作って憲法起草開始

伊藤博文、憲法制定に専念するため天皇臨席の枢密院の議長に就任し、首相の職は薩摩の 黒田清隆 に譲りました。

伊藤の渡欧(憲法調査)

ベルリン大学の ブナイスト

ウィーン大学の シュタイン

イギリスに渡って スペンサー
ベリーグッドで、ウッシシ

ドイツ人顧問 ロエスレル とエスで、いいか。

井上毅 (ドイツ流)

伊東巳代治 (ドイツ流)

金子堅太郎 (アメリカ流)

どいつを むりやり 学校にやろう?
ドイツ もりありのり 学校令 86年

親愛な 国を集めて 散歩する

1875 愛国社結成 新聞紙条例・讒謗律で対抗

1880 国会期成同盟 集会条例で対抗

1887 三大事件建白運動 保安条例で対抗